

**こどもの車中置き去りゼロへ。自動車業界が一丸でサポート。
クラクションで助けを求める「#たすけてブーブー」プロジェクトに
自動車会社 10 社が協賛。海の日を前に新聞広告で呼びかけ。
～人気絵本作家・柴田ケイコが描く『ぶたすけのラッパ』でも話題～**



「#たすけてブーブー」プロジェクトチームは、2025 年 6 月からこどもの車中置き去りを防止するため、クラクションを鳴らして助けを求めるアクション「#たすけてブーブー」を啓発するプロジェクトを開始。プロジェクトの一環として、車中に置き去りにされたこどもが車外に助けを呼ぶ方法をこどもたちが学べる絵本『ぶたすけのラッパ』（ポプラ社刊）を発売しました。

このたび本プロジェクトに、自動車会社 10 社の協賛が決定。活動への寄付など各社がプロジェクトへの支援アクションを実施することで、自動車業界一丸のサポートのもと、こどもの車中置き去りゼロを目指します。合わせて本日 7 月 18 日の読売新聞朝刊では、盛夏を迎える海の日を前に「#たすけてブーブー」のアクションを啓発する新聞広告も掲出いたしました。

■クルマに乗る人の意識まで変えて、こどもの車中置き去りゼロへ。自動車会社 10 社が取り組みに協賛

昨今、車中に置き去りにされてしまったこどもの事故が相次いでおり、2025 年現在も既に数件の事故が発生。こどもを車内に残したことがあると回答した人は 54.9%という調査結果も報告される（JAF「子どもの車内事故に関するアンケート調査」）など、潜在的な事故リスクも高い状況です。自動車会社各社はこの問題を解決するため、置き去り防止安全装置やシステムの開発など、車内のハード面での取り組みを進めています。

こうした各社の既存の取り組みに加え、こどもが自らクラクションで助けを求める「#たすけてブーブー」を普及させていくことで、クルマに乗る人たち自身の意識と行動も変えていきたい。そして、自動車業界一丸で、車中置き去り事故を一件も起こさない社会をつかっていきたいという思いから、各社に協賛いただく運びとなりました。今後は「#たすけてブーブー」啓発のサポートや、プロジェクト活動への寄付をはじめ、各社が様々な支援アクションを実施予定です。

＜協賛企業一覧（50 音順）＞

いすゞ自動車株式会社、スズキ株式会社、株式会社 SUBARU、ダイハツ工業株式会社、トヨタ自動車株式会社、日産自動車株式会社、BYD ジャパン株式会社、本田技研工業株式会社、マツダ株式会社、三菱自動車工業株式会社

■いのちをまもるえほん『ぶたすけのラッパ』も好評発売中！

車の中に閉じ込められた時にクラクションを鳴らして助けを求める方法を、楽しく覚えらる絵本『ぶたすけのラッパ』。「パンどろぼう」シリーズ（KADOKAWA）でおなじみの人気絵本作家・柴田ケイコさんが絵を手がけた本作は、6/4 の発売開始以降「楽しみながら大切なことを教えてくれる」「閉じ込められた時のクラクションの重要性を自然に学べる」など話題を呼んでいます。今後も一人でも多くのこどもたちが家族や先生と一緒にこの絵本を読んで、悲しい事故が一つでもなくなることを願っています。



■「#たすけてブーブー」楽曲動画も公開中！SNS ではこどもたちからの投稿も。

絵本の刊行に合わせて、各種 SNS においてプロジェクト公式アカウントからは、ぶたすけと一緒に「#たすけてブーブー」を練習できる楽曲動画も配信。楽曲動画を使用した SNS での投稿も生まれ、多くのこどもたちが「#たすけてブーブー」を楽しく練習してくれています！

歌詞：

くるまにとじこめられたら ブー ブー ブー
クラクションならそう ブー ブー ブー
ぶたすけのらっぱで ブー ブー ブー
おおきなおならだ ブー ブー ブー
ブー ブー ブー ブー ブー ブー
ブー ブー ブー ブー ブー ブー
ブー ブー ブー

楽曲動画リンク：<https://www.youtube.com/watch?v=ogjGZH1zK4U>



■各社コメント（敬称略）

・いすゞ自動車株式会社 広報部 企業市民活動推進グループ

いすゞ自動車は、商用車メーカーとしてトラック・バスの製造販売を通じて日頃から交通安全啓発に力を入れています。自動車に関わる企業として、命を守る啓発活動は最も大切なテーマの一つです。安全な社会を目指す一員として、「#たすけてブーブー」プロジェクトの趣旨に賛同し、協賛させていただきました。この活動が、未来を担う多くのこどもたちの命を守ることを願っています。

・スズキ株式会社 常務役員 経営企画本部長 熊瀧潤也

子どもたちの命と安全を守ることが、私たち大人の使命です。このプロジェクトが広がることで、クルマを利用するすべての方の意識向上につながり、子どもたちが安心して過ごせる毎日になることを願っています。

・株式会社SUBARU

SUBARUは、人を中心としたモノづくりの中で安全を最優先に考え、「いのちを守る」ことを大切にしてきました。笑顔のあふれる未来をつくり、そして守り続けるため、「#たすけてブーブー」プロジェクトの趣旨に賛同し協賛させていただきました。この活動が、子供たちのいのちや笑顔を守ることを心から願っています。

・ダイハツ工業株式会社 営業CS本部 本部長 福田昭夫

ダイハツはお客様に寄り添い、暮らしを豊かにする企業でありたいと考えております。皆様が日々安心して自動車にお乗りいただけるよう「#たすけてブーブー」プロジェクトの想いに賛同し、全国にあるダイハツディーラーなども通じて、世の中に広げる活動に取り組んでまいります。

・トヨタ自動車株式会社 トヨタタイムズ

悲しい事故をゼロにしたいというのがトヨタの変わらぬ想いです。2022年に悲しい事故が報じられた後“自動車メーカーができること”として、「車内置き去り防止支援システム」を開発しました。しかし、それを全てのクルマに装備することはすぐにはできません。このプロジェクトが並行して進むことで悲しい事故をゼロに近づけていくことができると感じています。

・日産自動車株式会社 ブランド&コミュニケーション戦略部 小坂 智

自動車メーカーとして、クルマにまつわるさまざまな場面で「命を守る」ことは、私たち日産の大切な使命です。夏の猛暑日、エアコンをつけない車内の温度は70℃を超えることもあり、わずかな時間でも車内に取り残された子どもやペットは大きな危険にさらされます。日産ではそんな「#熱駐症」ゼロを目指して啓蒙活動を行っていることもあり、本プロジェクトの趣旨に深く共感し、賛同しました。誰もが安心できる仕組みや環境を社会全体でつくり上げ、一人でも多くの命が守られることを、心から願っています。

・BYD ジャパン株式会社

BYD Japan Group は、環境だけでなく、日本の社会とお客様への貢献も大切にしています。すでにBYDの車両にはCPD（幼児置き去り検知システム）を装備していますが、「#たすけてブーブー」プロジェクトが掲げる「誰もが安心して暮らせる安心、安全な人のつながりとコミュニティづくり」に共感し、協賛することになりました。このプロジェクトが未来を担う世代と社会全体に希望を届ける一助になることを心から願っています。

・本田技研工業株式会社 安全運転普及本部 事務局長 高石 秀明

子ども自らが命を守る力を育むとともに、まわりの人たちの意識や行動を見つめ直すきっかけになるこの活動に、心から共感します。道を使うすべての人の安全を願い、交通安全活動に取り組む企業として、未来ある子どもたちの命を守る一助になればと願っています。

・マツダ株式会社 国内ブランドコミュニケーション部 国内広報チーム

子どもの車内置き去り事故は、ほんの一瞬の油断が命に関わる深刻な問題です。「#たすけてブー」プロジェクトは、子ども自身が命を守る力を身につけるとともに、大人の意識を変える大切なきっかけになると感じています。自動車に関わる企業の一員として、このプロジェクトの輪が広がり、一件でも悲しい事故がなくなることを願い、協賛させていただきました。

・三菱自動車工業株式会社

自動車産業の一員である企業として、近年悲しい報道が多くなっている中、子どもたちが自分自身で命を守る行動を取れることを目的とした、本プロジェクトへ非常に共感致しました。

“人生という冒険の旅”をより長く・楽しく過ごせるように、本活動が社会全体に広がり、痛ましい事故が無くなることで一人でも多くの命が助かることを願っております。

■新聞広告概要

掲載媒体：読売新聞（全国版／朝刊）

掲載日：7月18日（金）

■『ぶたすけのラッパ』概要

<あらすじ>

ぶたすけは森のほいくえんに通う、ぶたの男の子。あたまのラッパから「ブー！」と元気な音がでます。おえかきのじかんに「ブー！」、きゅうしよくのじかんに「ブー！」、そしておひるね中にも「ブー！」。保育園の先生に「ぶたすけくんのラッパはくるまのクラクションみたいで、みんなびっくりしちゃうわ」と言われても、おかまいなしです。

ある日、ぶたすけはかくれんぼをしていると、ほいくえんバスのドアが空いているのに気づきました。「しめしめ」と、バスの中に隠れると、ドアを閉められて出られなくなってしまい…。

<発売情報>

2025年6月4日発売

32ページ／1,300円（税抜）／B5変型判

■作者プロフィール

やまざきひろし

1983年、岐阜県生まれ。広告会社にて、クリエイティブディレクター／コピーライターとしてTVCMなどを手がける。主な絵本作品に、「答えのない道德の問題 どう解く？」シリーズ（ポプラ社）、「みんなで！どう解く？」（マクドナルドハッピーセット）などがある。

柴田ケイコ

高知県生まれ、在住。2016年に『めがねこ』（手紙社）で絵本作家デビュー。絵本作品に「しろくま」シリーズ（PHP 研究所）、「パンどろぼう」シリーズ（KADOKAWA）、『くまたのびっくりだいさくせん』（白泉社）、『うちのピーマン』（川之上英子・健 文／アリス館）、「○○ません。」シリーズ（大塚健太 作／パイインターナショナル）、「パンダのおさじ」シリーズ（ポプラ社）などがある。

＜プロジェクトについてのお問い合わせ先＞

「#たすけてブーブー」プロジェクト事務局

MAIL: : webinfo@boobooproject.jp

＜絵本の報道についてのお問い合わせ先＞

株式会社ポプラ社

宣伝部：佐野彩子 TEL：080-6252-6699/ MAIL：a_sano@poplar.co.jp